

単元名:第5章 開国と近代日本の歩み（2節・3節）

単元で付けたい力:

- ・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する力。【知識及び技能】
- ・明治維新による工業化の進展と政治や社会の変化、外交の展開などに着目し、近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する力。【思考力、判断力、表現力等】
- ・近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する力。【学びに向かう力、人間性等】

単元を貫く課題:開国したことで、日本は何が変化したのだろう。

時	本時のねらい・課題	学習の流れ	ゴールの姿・まとめ	生徒から 引き出したい振り返り	教員の振り返り (授業後)
1	【ねらい】 ペリー来航による、欧米諸国と結んだ外交関係を基に、「開国したことで、日本は何が変化したのだろう」の単元課題の予想を立てる。 【課題】 開国したことで、日本は何が変化したのだろう。	①課題を確認し、予想する。 ②自分の予想がどの視点に当てはまるかをカテゴライズする。 ③当てはめた視点について整理・分析を行う。 ④振り返り	【ゴールの姿】 近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 【単元の予想】 ・開国したことで、幕府は外国に支配され、幕府の権威が落ちると思う。 ・幕府の権威が落ち、大名は幕府に不満を持ち、倒幕に向かった。 ・外国の文化がたくさん日本に入り、欧米諸国のような強い国に変化したり、生活が豊かになったりすると思った。	江戸幕府がこれまで続けていた鎖国から開国に変化することで、日本は外国の影響を多く受けたと思った。また、外国の影響が日本の政治や文化の変化に繋がると思った。	
2	【ねらい】 ペリー来航による、欧米諸国と結んだ外交関係を基に、江戸幕府がなぜ開国をしたのかを考察し、説明する。 【課題】 なぜ江戸幕府は開国したのだろう。	①前時の振り返り ②課題を確認し、予想する。 ③なぜペリーが日本に来たのかについて考える。 ④なぜ江戸幕府は開国したのかについて考える。 ⑤まとめ・振り返り	【ゴールの姿】 ペリー来航による、欧米諸国と結んだ外交関係を基に、江戸幕府がなぜ開国をしたのかを考察し、説明している。 【まとめ】 江戸幕府は欧米諸国と外交関係を結び、開国を果たした。また江戸幕府は、欧米諸国に立ち向かうことは難しいと判断し、開国の判断をした。	江戸幕府が開国したことで日本の政治や経済、文化は大きく変化することになると思った。また、もし江戸幕府がペリー来航後も鎖国を継続したら、どうなっていたかが気になった。	
3	【ねらい】 江戸幕府が開国したことによる、日本への影響を基に、幕府は、開国するべきだったのかを考察し、説明する。 【課題】 開国は幕末の()にどのような影響を与えたのだろう。	①前時の振り返り ②課題を確認し、予想する。 ③開国することでどうなるかを考える。 ④開国は幕末に良い影響を与えたのかどうかを考える。 ⑤まとめ・振り返り	【ゴールの姿】 江戸幕府が開国したことによる、日本への影響を基に、幕府は、開国するべきだったのかを考察し、説明している。 【まとめ】 開国は幕末の政治・経済・文化に大きな影響を与えた。また開国は不平等条約や物価高、尊王攘夷運動による政治の混乱など、悪い影響が多かった。	江戸幕府が開国するべきかどうかは幕府の役人や民衆などの立場によって意見が変わることが分かった。しかし、開国の影響は大きく、今後の日本は外国の影響を多く受けることになると思った。	
4	【ねらい】 倒幕への動きや幕府の対応、外国の動きを基に、なぜ江戸幕府が滅亡したのかを考察し、説明する。 【課題】 なぜ江戸幕府は滅亡したのだろう。	①前時の振り返り ②課題を確認し、予想する。 ③なぜ江戸幕府が滅亡したのかを考える。 ④まとめ・振り返り	【ゴールの姿】 倒幕への動きや幕府の対応、外国の動きを基に、なぜ江戸幕府が滅亡したのかを考察し、説明している。 【まとめ】 江戸幕府は、開国により政治が不安定となり、薩長を中心に倒幕に向かうこととなったため、滅亡した。	約260年も続いた江戸幕府が、なぜ滅亡したのかが分かった。また江戸時代が終わり、明治時代になるとどのような変化が起きるのが気になった。	

5	【ねらい】 江戸と明治の政治の在り方を比較し、新政府の方針や諸改革の内容、中央集権国家の体制が確立していったことを理解する。 【課題】 江戸と明治の政治の違いはなんだろう。	①前時の振り返り ②課題を確認し、予想する。 ③江戸幕府の政治の仕組みを振り返る。 ④明治新政府の政治の仕組みを理解する。 ⑤2つの政治を比較し、明治新政府が何を指したのかを考える。 ⑥まとめ・振り返り	【ゴールの姿】 江戸と明治の政治の在り方を比較し、新政府の方針や諸改革の内容、中央集権国家の体制が確立していったことを理解している。 【まとめ】 明治新政府はこれまでの幕藩体制を廃止し、版籍奉還、廃藩置県、解放令を出すなどをし、中央集権国家を目指そうとした。	江戸幕府の政治と明治新政府の政治を比較したことで、政治の仕組みの変化を見やすく考えることができた。また明治維新は、外国の影響を多く受けていると思った。	
6	【ねらい】 明治維新による工業化の進展と政治や社会の変化などに着目し、近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 【課題】 明治維新は()にどのような影響を与えたのだろう。	①前時の振り返り ②課題を確認し、予想する。 ③明治維新の影響について考える。 ④明治維新は良い影響を与えたのかどうかを考える。 ⑤まとめ・振り返り	【ゴールの姿】 明治維新による工業化の進展と政治や社会の変化などに着目し、近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 【まとめ】 明治維新による三大改革や文明開化は日本の政治・経済・文化を大きく変化させた。しかし、富国強兵・殖産興業など今後の戦争に繋がるようなものも表れた。	明治維新は、日本の政治・経済・文化に大きな影響を与えたことが分かった。また、明治維新は外国から入ってきた物事が多く、開国したことによる影響も大きく受けていると思った。	
7	【ねらい】 江戸幕府が開国したことによる、日本への影響を基に、日本は、開国するべきだったのかを考察し、説明する。 【課題】 開国したことで日本は何が変化したのだろう。	①前時の振り返り ②課題を確認する。 ③幕末と明治維新の影響を比較・関連付けし、開国した日本はどうなったのか考える。 ④日本の開国は良かったのかについて考える。 ⑤まとめ・振り返り	【ゴールの姿】 江戸幕府が開国したことによる、日本への影響を基に、日本は、開国するべきだったのかを考察し、説明している。 【まとめ】 日本は幕末にペリー来航による欧米諸国と不平等条約結んだことで開国することになった。幕末における開国の影響は、物価高、政治の混乱などの悪い影響が多かった。しかし、明治新政府が樹立し、明治維新や文明開化を果たした日本は欧米諸国に近づく大きな発展をとげた。幕末と明治時代初期を比較すると開国は、少しずつ欧米諸国に近づく良い影響を与えた。	江戸幕府は長い鎖国から開国に政策を転換したことで日本の政治・経済・文化など様々な物が変化したことが分かった。開国してすぐの幕末は、外国に追いつけず、悪い影響も多かったが、明治維新などを経て外国の文化が日本に良い影響を与えたと思った。	

単元ゴールの姿：

生徒が開国とその影響について捉え、それを基に、日本が明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解している。また同じ視点の生徒、異なる視点の生徒の意見を比較したり、関連付けたりすることで意見を深めようとする姿。

単元のまとめ：

日本は幕末にペリー来航による欧米諸国と不平等条約結んだことで開国することになった。幕末における開国の影響は、物価高、政治の混乱などの悪い影響が多かった。しかし、明治新政府が樹立し、明治維新や文明開化を果たした日本は欧米諸国に近づく大きな発展をとげた。幕末と明治時代初期を比較すると開国は、少しずつ欧米諸国に近づく良い影響を与えた。